

予防教育 実践1

飲酒傾向の強いプロ運転手向け セルフケアスクール

管理強化で対応

アルコール検知器に反応する運転手が出る

世論の
高まり

飲酒
運転
事故

会社は、停職・始末書など厳しい処罰で対応
運転手は「二度とやりません」と誓約書を書く

しかし、二度目に反応する者が出てしまう

マスコミ
報道

勸奨退職に

アルコール検知器の性能アップも
検知に反応する運転手がまた出る

会社は対応に困る
労働組合からも対策を迫られる

厳罰化

?

検知器に反応した運転手に対する 対処例

1回目	2回目	3回目	
High	High	—	勧奨退職
High	Low	—	勧奨退職
Low	High	—	勧奨退職
Low	Low	Low	勧奨退職

セルフケ
アスクール
実施

処分 乗務停止の上、停職3～7日
始末書・誓約書

High 法定基準以上
Low 法定基準未満

バス会社でのセルフケアスクール

- 対象： 飲酒傾向の強い運転手
- 目的： 自分の飲酒習慣を見直し、改善すること
- 期間： 3時間×6回（月例か隔月で）
- 内容： 前半はワークシートなどを使った実践的な講義
後半はグループワークによる事例検討
（飲酒問題と生活上の改善策）や行動計画の作成
- 6回の講義のテーマ

アルコールと体
アルコールと睡眠
アルコールと事故
アルコール依存症
お酒の決算書
断わり方の研究